

「ヌンク・ディミテイス」
—シメオンの賛歌—

2005年アドベント

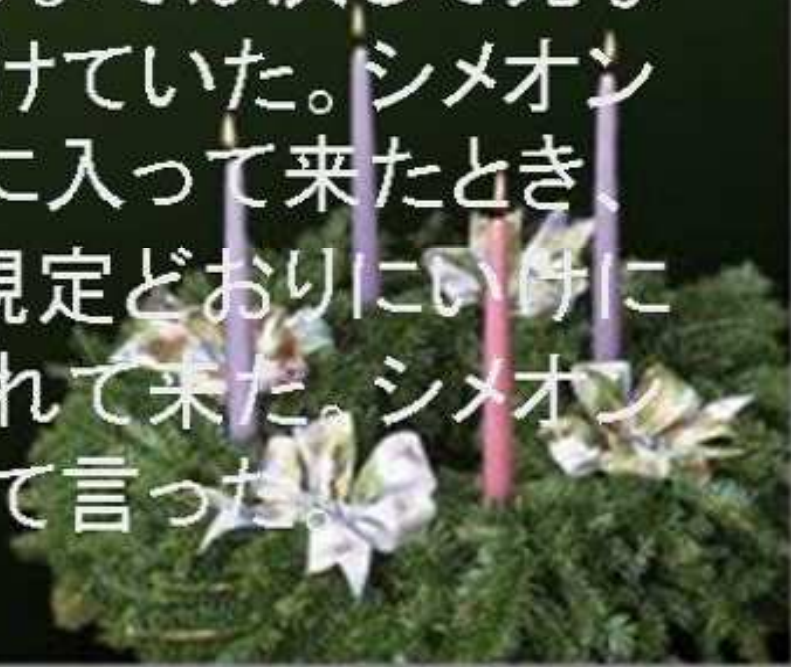


ルカ福音書 2章22-38節

さて、モーセの律法に定められた彼らの清めの期間が過ぎたとき、両親はその子を主に献げるため、エルサレムに連れて行った。それは主の律法に、「初めて生まれる男子は皆、主のために聖別される」と書いてあるからである。また、主の律法に言われているとおりに、山鳩一つがいか、家鳩の雛二羽をいけにえとして献げるためであった。

ルカ福音書 2章22-38節

そのとき、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい人で信仰があつく、イスラエルの慰められるのを待ち望み、聖霊が彼にとどまっていた。そして、主が遣わすメシアに会うまでは決して死なない、とのお告げを聖霊から受けていた。シメオンが“霊”に導かれて神殿の境内に入ってきて来たとき、両親は、幼子のために律法の規定どおりにいけにえを献げようとして、イエスを連れて来た。シメオンは幼子を腕に抱き、神をたたえて言った。



ヌンク・ディミティス

主よ、今こそあなたは、お言葉どおりこの僕を安らかに去らせてくださいます。わたしはこの目であなたの救いを見たからです。これは万民のために整えてくださった救いで、異邦人を照らす啓示の光、あなたの民イスラエルの喜ばれです。



シメオン

- 正しく信仰あつた老人
- 国の再興を願っていつも神殿で祈っていた
- 「聖霊」(神の霊)がいつもともなっていた
- メシアに会うまでは死なない、とお告げを受けていた



シメオンの見た救い

- 「わたしはこの目であなたの救いを見た」
 - 生まれたばかりの赤子に偉大な未来を見た
- 「万民のために整えてくださった救い」
 - 自分のためでも母国のためだけでもない
- 「異邦人を照らす啓示の光」
 - 神からの光という救い



啓示の光、イエス・キリスト

- 隠れているものの照らし出す光
 - 「多くの人の心にある思いがあらわにされるため」(35節)
- まったく新しい現実を創造する光
 - 砂漠に花を咲かせるような
- 見えていないものを見せる光
 - 永遠を見通す



ヌンク・ディミティス

- 「去らせてくださる」は「解放して下さる」という意味の言葉である
- 「啓示の光」(キリスト)による解放
 - 物理的
 - 時間的
 - 心理的

